

# 明るく房後

房後連絡協議会 編集  
平成十七年二月二十四日発行  
第二頁 十 八号

来月六日(日)

## たかみや文化祭

房後の出演 抜群に参り

応援と観覧お願いたします

たかみや文化祭の演芸部門は、別途配布されているプログラムでもわかるように、三分の一は房後の下房後、勤部、表郷、新迫の各女性会からの出演で、詩吟や船歌、手太鼓などにも房後の方がおられるようです。何事も房後の人の顔を見ることになりまます。この日には、房後から深山出かけて盛り上げましょう。

## ゴルフ場で楽しもう

来月二十八日(月)

高宮コントリビュータのゴルフ場のうち、ロイヤルコース(東側・自動直道扱い)をゴルフをしない人に、一日開放する企画が予定されているそうです。

日時は三月二十八日の月曜日、午前十時から午後四時までで、今のところ、ゴルフ場便では年中無休のところを、当日に限り臨時休業日とし、ゴルフをしない人にゴルフ場の様子を見てもらったり、昼食(有料)入浴や全コースを廻って眺望を楽しんでもらおうというものです。

実施の内容については、近日中に房後連絡協議会としても役員会を開いて協議し、改めてお知らせいたします。折角の機会ですので親戚、知人等にも誘いたいだいで多くの皆さんのご参加を期待しています。

## ふれあいサロン

十六日(水)に実施

今月のふれあいサロンは十六日に、二十三名の参加で実施されました。午前中は「ふれあい」という言葉について考えました。ある辞書にふれあいとは、「縁が有って、今まで全く知らなかった人と親しくつきあう(ようになる)こと。」とあり、そこから「神振り合(かも多(他)生の縁」ということわざへと話が広がっていきました。午後は、ひな人形の折り紙づくりや前回のガンバールンボールを使ったゲームをして過ごしました。

三月も同じ十六日第三水曜日に開きます。午前中は吉田の大中康治先生の話で午後はお茶をいただきながら気楽な話し合いを予定しています。気軽な気持ちでお出で下さい。房後で暮らす人間として、お互いのふれあいを深めようではありませんか。

## 明泉寺仏教婦人会法座

期日 三月十三日(日)

朝席 九時半 昼席 一時

総会 三時

ご講師 美土里町 北

安楽寺住職 毛利友之先生

○おとぎが出来す

○高宮タクシーをご利用下さい

## 明泉寺主曜学校

六年生の卒業を祝う会

期日 三月十二日(土)

九時〜十二時半

今年の卒業生は五名です。お母さんの手作りカレーを食べながらお祝いします。その際、例年どおり、仏教婦人会から、お祝いのしるしをいただきます。

## 房後ふれあいセンター

運営費不足解消のお願い

一昨年完成した「房後ふれあいセンター」の昨年度の運営費が約二十七万円かかりました。これに対し安芸高田市から管理委託料として二十一万円が交付されたので、差し引き六万二千四百九十九円の不足となりました。それで、先般この不足額を補うため、役員会で協議した結果、各戸千円のご協力をお願いすることにになりました。

なお、運営費の内訳は、灯油約二万八千円、電気料月平均約一万五千五百円、水道ポンプ月平均約二千三百五十円、ガス代月平均約二千五百円となっています。

房後ふれあいセンターは私たち房後住民全体が利用する施設です。使用に当たっては無駄のないようお互いに気を付けましょう。

## 男性料理教室

安芸高田市食生活改善推進協議会に所属している房後「にんじんグループ」島田初枝、竹内登智子、田丁隆代、吉貞頼子の皆さんがご心配くださって、今月八日ふれあいセンターに於いて「房後男性料理教室」を開催、男性七名が参加しました。(左下写真)

作った料理は①豆腐の野菜あんかけ ②大根サラダ ③チンゲンサイスープ ④白身魚のホイル焼き ⑤ミルクず餅の五種類で、それにご飯とお茶が付きます。それが左上の料理写真で、右端(ご飯の上)のチンゲンサイスープの場合は、チンゲンサイとロースハムを短冊形に切りスープで煮込み、それが煮えたら塩とこしうで味を調え、溶き卵を流し入れます。そして器に盛る時みじん切りのパセリを散らして出来上がりというわけです。

この催しへの参加者が少ないのはどうしたわけでしょう。今の若い男性は家庭でも料理をするのが普通になっていますが、高齢者は女性に頼っている場合が多いようです。万一ひとり暮らしでもするようになった時は大変で、急に料理の腕をふるうというわけには参りません。それで平素から、料理に対する関心を持ち、せめて一日一度は調理台の前に立つようにしたいものです。

